

線をつくる

ドローイングの世界に分け入る

2月のワークショップは画家の金田実生さんを講師に迎え、ドローイングを取り上げます。

線を引くという原始的な行為から始め、空気の肌触り、温度、湿度、あるいは言葉のイメージなどをテーマに、新鮮な線、かたちで描くことを試みます。自然の気配やエネルギーを伸びやかな造形で表現している金田さんとともに、多様な豊かな線表現の一端に触れてみます。

講師 **金田実生** (画家)

場所 = 創作室 2
対象 = 16 歳以上
定員 = 15 名 [先着順]

参加費 = 無料

持ち物 = 制作のできる服装、普段使っている画材 (筆、鉛筆、木炭、クレヨンなど)、クロッキーブック、アイマスクか手ぬぐい (目をふさげる物)、昼食
※基本的な用具・材料については創作室で準備します。

申込開始日 2020 年 1 月 8 日 (水)

申込方法 = 事前に電話又は創作室で直接お申込み下さい。Tel 022-221-2114 [創作室直通]

※1月21日(火)まではメンテナンス休館のため、電話での申込みになります。1月12日(日)、13日(月・祝)、20日(月)、27日(月)、2月3日(月)はスタッフ不在のため受け付けていません。



講師作品
《真星のリズム》2018年、127×98.3cm、油絵の具、紙、作家蔵 (撮影:長塚秀人)

2020年
2月8日(土) - 9日(日)
各日 10-15 時 | 2日間連続

宮城県美術館
〒980-0861 宮城県仙台市青葉区川内元支倉 34-1
お問合せ 022-221-2114 (創作室直通)

■講師紹介

金田実生 (かねだみお)

1963年東京都に生まれる。1988年、多摩美術大学大学院修了。2005年、文化庁新進芸術家国内研修員。現在東京都に在。風景や植物、それらの変化を繊細に描き出す。作品形態はペインティング、大小のドローイング、ドローイングノートなど幅広い。個展、グループ展多数。主な展覧会に「クラクフ国際版画トリエンナーレ『ジャパニーズプリントメイキング』(Gallery BWA、クラクフ、ポーランド、1994年)、「アーティスト・ファイル2009」現代の作家たち(国立新美術館、東京、2009年)、「公開制作73『金田実生 青空と月』(府中市美術館、東京、2018年)、「みつめるー見ることの不思議と向き合う作家たちー(群馬県立館林美術館、2019年)など。作家ウェブサイト: <http://kanedamio.jp/>